

いのち守る都政を

都議会に送っていただき4年。

「人の痛みに心を寄せられる議員でありたい」と力を尽くしてきました。

コロナ感染の拡大は、都民の命も暮らしも脅かしています。子どもたちは、一緒に向き合って給食を食べることもできず、虐待の危険に直面している子もいます。女性の自殺も急増しています。

都民がこれまで経験したことのない苦難に直面している時だからこそ、政治の責任は重いのです。

私は18名の共産党都議団の一人として、検査の徹底、医療現場への支援の強化、保健所の体制強化を求めて、皆さんと一緒に都政を動かしてきました。一日も早く収束させ、医療や福祉、教育を立て直し、安心して暮らせる都政にするため頑張り抜く決意です。

コロナ対策 とや報告 ①

練馬の保健所の拡充と病院・病床増に道を開く

練馬区の病院ベッド数は23区平均の3分の1(人口比)、救急搬送の60%は区外へ、という医療過疎。私は、区民のみなさんと力を合わせて、光が丘や順天堂練馬病院などの新增設に道を開いてきました。感染症対策を担う保健所は半減されましたが、私たちの要求でコロナ対策の人員は3倍に。今後も抜本強化が必要です。

日本共産党都議会議員

戸谷えつこ

とや英津子

- 病床1000床増

(2014年～2025年比、実施計画化)

- 保健所20人→77人体制へ増

コロナ対策 とや報告 ②

小池都知事と論戦、53回申し入れ 都のPCR検査の拡充や コロナ専門病院を実現

PCR検査に消極的小池都知事に迫り、拡充させてきました。ワクチン接種と並行して、ひきつき病院や福祉施設、感染集中地域などで、無症状の人も含め早く発見して感染を抑え込む対策を進めさせます。

- PCR検査 6.8万件約束
- コロナ専用の3病院実現
- 医療・高齢者施設で検査

- 練馬区にも5回の申し入れで
- PCR採取130カ所へ
 - 病院支援 7.2億円 20年度

コロナ対策 とや報告 ③



『自粛と補償はセットで!』

「何でも相談会」の先頭に

とや都議に救われました

練馬駅近くで、カラオケスナックMを経営のママ

営業保障の事務手続きが分からずに途方に暮れていたところ、とや都議さんに相談にのっていただき助けられました。恩人です。

◀各駅で「何でも相談会」に取り組むなど、多くの相談解決の先頭に立ちました(2020年5月)

文化の灯を消さないで

東京芸術座代表 崎田和子

「アートにエールを!」など文化を守る活動の先頭に立ってきた、とや都議。精神の糧である芸術を誰もが享受できる人間都市東京実現へ! とや都議の益々のご活躍を期待しています。

生活、営業などのご相談は TEL 03-6324-8060 とや事務所へ



練馬区民新聞 2021年3・4月号外 発行:練馬区民新聞社 責任者:中川のり子 連絡先03-3999-9270 ●日本共産党練馬地区委員会の見解を紹介します。

外環道など不要不急の巨大開発はやめて、お金をコロナ対策に

みなさんと30年間の運動が実り 35人学級実現

— 少人数学級へとさらに拡充させましょう —

約30年前、私は自分の子どもたちが小学校の時に、少人数学級を求める運動を始めました。

当時、「学力低下」や「いじめ」が問題になり、その解決のためには、「すし詰め教室」をやめ「ゆき届いた教育環境を」との願いを込めた運動でした。

私は、「力を合わせれば、政治は変えられる」と、母親としてPTAや学童の保護者の皆さんと署名運動にとりくみました。議員としても区議会、都議会で、少人数学級の必要性や効果を訴え、都知事とも一問一答で論戦してきました。

新年度、小学校から35人学級化が始まります。さらに、小中高校全学年に広げたいと、決意を新たにしています。

子ども

2018年から文教委員会に所属し、委員長を務めるなど、子どもたちの教育を受ける権利を保障し、教育条件を充実させるために、調査・提言や条例提案をおこなうなど奮闘してきました。



▲熱中症で生徒が入院した都立高校体育館の現地調査を実施（2018年夏）

- 小中高校の体育館にエアコン設置
- 私立高校の授業料無償化の拡大
- 禁止髪型など「理不尽な校則」問題を取り上げ、変化はじまる
- 認可保育園の大幅増設が前進 練馬で今期46園の増設
- 認可外保育園の赤ちゃん死亡事故許せない 保育の質の向上めざし奮闘

練馬区の難聴高齢者への

補聴器補助制度が実現

高齢者

「まともな補聴器は高くて買えない」と悲痛な声が…。
住民アンケートや学習会を行い、議会でも繰り返し取り上げてきました。その結果、都政も動き、21年度からは練馬でも補聴器補助の予算化が実現しました。

- 特養ホーム増設 練馬で今期4施設

ジェンダー平等

差別をなくし、 一人ひとりが大切にされる社会へ

ジェンダー平等を一貫して求め、不当な差別を規制する人権条例も実現。また議会質問で、性暴力被害者支援やDV対策を強化させることができました。

とや英津子のプロフィール

●練馬区議4期、都議1期、文教委員長、オリンピック・パラリンピック対策特別委員など歴任 ●1963年、練馬の中村生まれ ●駒沢大学中退、練馬区労協、党区議団事務局勤務 ●家族：夫、1男、実母 ●趣味：銭湯めぐり、ハイキング

とや英津子事務所

電話 03-6324-8060 住所 練馬区桜台1-6-11

●ご意見、ご要望をお寄せ下さい

日本共産党

とや英津子



日本共産党都議会議員
とや英津子

まちづくり

住民の声を反映させるため 現地でも、議会でも

- としまえん跡地の利用計画に住民の声を
- 石神井公園駅前の再開発計画は見直しを
- 西武新宿線立体化は地下化含め見直しを
- 東京外郭環状道路建設の中止
- 羽田空港新飛行ルートの中止

コロナ禍の中でも、住民合意のない再開発や大型道路が強引に進められ問題に。

私は、住民の声を聞き、議会に反映させ計画を抜本的に見直すよう求めて、これからもがんばります。



▲外環道工事の事故現場の調査（2021年1月）